平成31年4月26日

各位

競技かるた部からの通知

一般社団法人全日本かるた協会　常務理事

競技かるた部長　　遠藤　健一

競技かるた部から以下の通り、決定事項等連絡致します。会員への周知徹底をお願い致します。

記

1.　五番目のタイトル戦の新設について

　　名人位・クイーン位決定戦、全日本競技かるた選手権大会、全国選抜かるた大会、全国

競技かるた女流選手権大会に次ぐ五番目のタイトル戦を新設します。

概要は以下の通りです(一部未定です)。

　1)　タイトル戦の名称

　　　「小倉山杯　かるたチャンピオン決定戦(仮称)」

　2)　日時

　　　第1回大会は2020年2月23日(日)(10:00～17:00)に開催します。

　　　第2回以降は2月の第4日曜に開催します。それに伴い、全国選抜かるた大会は

　　　3月第1日曜から3月第2日曜に開催日をずらす予定です。

　3)　場所

　　　嵯峨嵐山文華館(京都

　4)　競技方法

　　　招待選手男女各4名、合計8名による完全シードのトーナメント戦とします。

　　　順位決定戦はありません。

　5)　出場資格(ほぼ決定)

　　①　男性

　　　　名人(男性1位)、前回大会優勝者(男性2位)、全日本競技かるた選手権大会優勝

者(男性3位)、全国選抜かるた大会優勝者(男性4位)を選抜します。以下同様に準

名人、得点上位者の順で4名まで選抜します。得点が同じの場合は、前年度得点上

位者を選びます。以下同様とします。

　　②　女性

　　　　クイーン(女性1位)、前回大会優勝者(女性2位)、全日本競技かるた選手権大会優

　　　　勝者(女性3位)、全国選抜かるた大会優勝者(女性4位)を選抜します。以下同様に

　　　　準クイーン、得点上位者の順で4名まで選抜します。得点が同じの場合は、前年度

得点上位者を選びます。以下同様とします。

　6)　旅費

　　　出場選手には旅費を支給します。

2.　競技規程細則の変更について

　　「競技規程細則」第二十三条(お手つき)第二項を以下の様に改めるとともに、補足を削

除します。

有効手が一方の陣の札に触れたままその札が他方の陣に入り他方の陣の札と接触した

場合でも、有効手が他方の陣の札に触れていなければ他方の陣はお手つきとしない。

令和元年5月1日より適用とします(添付資料参照)。

近々、協会ホームページの「競技規程細則」も差替える予定です。

3.　平成31年度専任読手選考会二次審査結果報告

3月23日(土)に開催された標記審査会の結果、宮崎県かるた協会の横谷裕三子氏が

専任読手に合格されましたので報告します。

4.　競技かるた部長宛の提案制度の新設について

　　現在、競技かるた界は百有余年の歴史の中で、一番の激動期を迎えています。全ての

　　制度が時代の荒波にもまれています。このような状況下のもと、競技かるた部では精力

　　的に制度の改訂に取組んでおりますが、今回新たに全国から提案を受け付ける制度を

　　新設することに致しました。制度の中身は以下の通りです。

1)　提案の内容

　　　競技かるたの制度変更や運用上の提案等(協会の運営に関わるものは除きます)。

　2)　提案の方法

　　　末尾記載の競技かるた部長のアドレスに、直接提案して下さい。何件提案しても結構

です。

　3)　提案の採用

競技かるた部長判断とします。採用された提案者は、3月と8月に開催している

「競技・審判部会」にゲストとして招待し、競技・審判委員と一緒に審議致します。

旅費は支給します。

5.　読手指導員(仮称)の新設について

　　新しい読手制度の検討を始めました。

　　位置付けとしては、専任読手とA級公認読手の中間的な地位とします。具体的な制度

については、決定後に連絡致します。

6.　(一社)全日本かるた協会ホームページの競技関係規程の差替えについて

　　協会ホームページの競技関係規程については、平成20年8月の制定以来、一度も変更

されていませんでした。

今回、競技かるた部の平成29年6月の通達から直近までの通達を反映した形で、差替

えを行い4月6日に差替えとなりました。今後はこの新しい資料を使用して下さい。

今後、通達で競技関係規定が改訂になった場合は、迅速に差替える予定です。

7.　読手申請書の改訂について

　　読手申請書を改訂しました。今後は添付の資料を使用して下さい。本申請書については、

協会ホームページに近々アップする予定です。

以上